

第14回人権ショートストーリー入賞作品

(小・中学生の部)

最優秀賞

「1人じゃないで」

最近、元気無いみたいやけど、何か悩み事でもあんのか？何でも相談に乗るで！オレだけじゃなくてみんなも相談に乗ってくれるはずやで！1人じゃないこと忘れんなよ！

優秀賞

「笑顔」

笑顔があると希望が生まれる希望があると幸せが生まれる幸せがあると笑顔が生まれる。ずっとずっと続いてく。みんなで笑顔を生んでいこう。そしたら、希望が増えていく。幸せが増えていく。笑顔は色んな物に繋がる。

優秀賞

「認め合う」

みんな同じように生まれたんだから。みんな時には失敗して、時には成功する。得意なものもあるけど苦手なものもある。完璧な人なんていない。そんなところも認め合って、生きていくことが大切だと思う。

優秀賞

「人権」誰にでもあり、最も大事な権利」

人権、憲法にもあるように、決っておかしてはならない権利です。人権は人間である以上、誰にでもある権利でかつ最も大事な権利です。老若男女問わず友好の輪を築くこと、それが人権を守るための成すことなのです

佳作

「いつも優しくしてくれる親友へ」

ようちえんの時からずっと一緒に、ケンカしたこととかもあったけど辛い時とかにだれよりも早く声をかけてくれたりしてうれしい。これからもずっと私の大切な親友でいてね。

佳作

「同じ人間」

大人も子供も同じ人間仲間はずれはいけないよ。大きな命も、小さな命も、同じ重さだよ。

佳作

「ありがとうおじいちゃん」

足が痛い腰が痛いなどのことを言いながらもおいしいお米を作ってくれてありがとう。もうちょっとすれば稲刈りがあるけれど、部活が無ければ、手伝うからね。ぼくが大きくなるまでもうちょっとだけやっというてね。

佳作

「大切なこと」

大切なことってなんなんだろう。友達と仲良くすること？勉強を、いっしょうけんめいすること？全部大事なことだけど、一番大切なことは、みんなが笑顔になることじゃないのかな。

佳作

「思いやれる心」

自然な優しさというのは、考えて出てくるものではなく、その人の身になり心になれば、答えはすぐに出てくると思う。自分だけのことを考えずに、相手のことを思いやれる心をいつも持っていたいと思う。

(高校 ・ 一般 の 部)

最 優 秀 賞

「おじいちゃんへ」

おじいちゃんは時々私の名前を忘れてしまうね。でも私の帰りを毎日必ず待ってくれるね。雨で冷たくなった靴をそっと温めてくれたこともあったね。おじいちゃん、いつもこころをほっこりさせてくれて、ありがとう。

優 秀 賞

「ふつう」

ふつう、女の子はそんなことしないのよって、あなたは言うけど、ふつうって何？私は昆虫採集が好き。それでいいじゃん。私の「ふつう」とあなたの「ふつう」は違うの。あなたの「ふつう」を押しつけないで。

優 秀 賞

「生きる力」

大怪我で後遺症も残りましたが、両親から「家族愛」、病院のスタッフから「勇気」、友人から「希望」、妻からは忘れていた「笑顔」を思い出し、娘から「生きる力」をもらいました。本当に生きててよかった。

優 秀 賞

「画面の前のみんなへ」

匿名だからといって大切な人を傷つけていませんか？あなたの何気ない書きこみで笑う人もいるかもしれませんが、傷つく人のほうがずっと多いです。どうせなら、みんなが喜ぶ書きこみをしたいよね。

佳作

「ちがっていいじゃないか」

私は同性愛者 そこにいるのは障害者 目の色や生まれたところが違う外国人 親がお母さんしかいない人 人と違うこと別にいいじゃないかな。同じ人はいないのだから自分だけのセンスで生きていきたい。

佳作

「あかりの源になる人へ」

あなたは隣にいる人を素直に受け入れられますか。できないなら隣の人もあなたを受け入れてくれないでしょう。自分が広い心を持てば周りが明るくなる みんなが持てば世界が明るくなる。あなたがあかりを作りませんか？

佳作

「はじめの一步」

人見知りで引っ込み事案な僕だけど。もっと強い僕になれますように。思ったことを実行できる僕になれますように。さあ今日こそは、どうぞの一言。きっと何かが変わるはず。あのおばあさんに席を譲ろう。

佳作

「無題」

あの日、怒りで誰にも止められなくなった障害を持ったあの子を、先生がしっかりと抱き締めて落ち着かせたとき、見えない愛が具現化したように思いました。今でもあなたは、わたしの目標であり続けています。

佳作

「星や花のように」

夜空に光る星の色で星を差別するひとはいません。花がどこで咲いたかで花を差別するひともいません。星や花と同じように、ひとりひとりの違いを美しいと思うことで人間はもっと美しくなれると思うのです。